

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 3月 23日作成 第 1.0版

研究課題名	献体を用いた頭頸部手術手技実習に適した固定法の開発に関する前向き横断研究
研究の対象	有美会の会員の方で、申し込み時に「手術手技研修等の臨床医学の教育及び研究におけるご遺体の使用」に同意されている方のうち、「解剖献体された方の組織写真及び画像の使用に関する同意書」にご遺族の同意を得られている方を対象とします。
研究目的 ・方法	<p>ご献体を用いた手術手技実習 (CST) は、手術手技に必要な詳細な解剖を実際の手術以上の精度で理解する事を目的とした実習です。</p> <p>本研究は、頭蓋内操作を含む頭頸部 CST に適した固定法を開発することで脳神経外科手術のための CST が可能となり、臨床の現場でより安全に高度な手術を行なうことが目的です。</p> <p>横浜市立大学脳神経外科では、有美会の方々の尊い御遺志と御遺族様のご協力のもと、毎年 8 月に頭頸部解剖実習を実施しています。実習は、数種類の防腐処理（固定法）を用いて行なっています。</p> <p>本研究では、どの固定法が頭頸部 CST に適しているかを評価するため、①実習参加者による主観的評価、②御献体の組織性状の定量的評価、③頭蓋内構造の評価、④脳神経外科手術手技に即した評価、で検証します。</p>
研究期間	西暦 2020年 6月 1日 ~ 西暦 2023年 5月 22日
研究に用いる情報の種類	①実習参加者へのアンケート結果、②御献体の柔軟性や弾性などの測定値、③頭頸部の構造や解剖学的特徴を評価するための御献体の写真や動画（個人が特定される情報が含まれない情報に限ります）、④脳神経外科で行なわれる手術操作の再現やその正確さを測定します。収集した情報は個人情報保護に努め保管し、研究に使用します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、御献体が当該研究に用いられることについてご遺族の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 脳神経外科 （研究責任者）山本 哲哉

（連絡先） 三宅 茂太

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-783-6121